

事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	消防本部
	09041-1	防火水槽整備事業	室名	消防総務室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	05:防災力の強化	務	款 消防費
施策体系	施策の方向	05:消防力の充実・強化	科	項 消防費
	戦略プロジェクト		目	目 消防施設費

② 目的・概要	対象	市民、消防職員
	目的	火災防ぎょ活動を迅速・的確に実施するため、消防水利の基本である防火水槽を計画的に新設し、消防力の充実強化を図ることを目的とする。
概要	建築物の密集状況及び地域間のバランス等を勘案し防火水槽(40㎡以上)を設置する。	

			27年度	28年度
①	名称	各年度防火水槽設置計画数	計画値	
	補足		実績値	1
②	名称	各年度防火水槽設置完了数	計画値	
	補足		実績値	1
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	

年度計画				年度実績					
				樺世町地内 耐震性防火水槽(40㎡)設置					
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	1,318	平均給与額×③
		事業費		7,754	7,754	一般職員人件費 ②	1,318		
		国庫支出金				所要人員 ③	0.18		
		県支出金				臨時職員人件費 ④			
		地方債				受益者負担額 ⑤			
		その他		7,700	7,700	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
		一般財源		54	54				
		再掲	翌年度への繰越額						
			前年度からの繰越額						
			総人件費			①	1,318		
	総コスト			⑥	9,072				

【事業の成果】 消防水利の未充足地域に1基を設置することにより、消防水利の充実が図れた。	総合判定 A 順調に進んだ
---	----------------------------

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】 消防庁の「消防施設整備実態調査」では、本市の消防水利の充足率は67.1%と、県平均(76.1%)よりも低率であるため、今後の消防水利の整備促進が喫緊の課題である。 なお、平成28年度事業は、事業用地が狭隘であったため、高コスト工法となり、1基のみの設置となった。
	【改善の方向性】 消防水利の充足率を向上するために、防火水槽の計画的な整備を推進する。 なお、可能な限り、施工が容易な事業用地を調査、選定し、1基あたりの施工コストを削減する。 また、整備にあたっては、より有利な財源の確保に努める。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 消防総務室長 豊田 達也
--------------	---------	-----------------------